

おおまち ふれあい広場

このコーナーに掲載ご希望の方は企画
政策課広報統計係までご連絡ください。

詳しくは ▶ ☎ 82-3112

短歌

- ◇燃えるよな赤きカンナの咲く夏を
美しき野生の黒蝶が飛ぶ
- ◇雨の日に保護せし黒猫雨降れば目
を見開きて空を見ており
(上大町) 深海魚
- ◇猛暑日家庭菜園すくすくとキユウ
リ・トマトおいしく育て
- ◇炎天下仲良き友とおしゃべりアイ
スクリームほおばりながら
- ◇夏より大合唱のセミの声汗もふ
きとぶ元気をもらう
- ◇猛暑日元気な挨拶学園児ニツツコ
リ笑顔夏バテも飛ぶ
(栄町) 本村悦子
- ◇久しぶり晴れ間が見えて入道雲夏
を感じて散歩に出よう
- ◇夏に入る食欲注意衛生もマスクも
入りて体気遣う
(道金町) ドッチボール
- ◇星まつり雨だね彗星・織り姫デー
トはお天気の良い所で
- ◇白髪頭にしたいけどつい染めてし
まう根気のない私です
(寿町) 脇山節子

俳句

- ◇雨降れば窓際とまる小鳥たち
しとしとと降り続ける梅雨の雨
風吹けば枯れ葉舞い散る池の中
(旭町) 宮本秀子
- ◇暑い夏トケイソウ花いやされて
(栄町) 本村悦子
- ◇温みかん美味しくておやつ代わり
にパクパクと
夏花に風そよぎては香り来る
(道金町) ドッチボール
- ◇朝顔がほほえんでいる散歩道
雨あがり草刈る人や黙黙と
(高砂町) ゴールドシルバー
- ◇涼しい音色風と仲良し風鈴
シヨートヘアアうなじをねらう紫
外線
(寿町) 脇山節子
- ◇万緑や石仏ながむ静けさや
紫陽花の写る川面や匂い聞く
木漏れ陽の葉のきらめきやあいの
風
(栄町) 川崎アヤ子
- ◇友にきたオレオレ詐欺ご用心
翔平ヘルメットの額高額なり
ウォーキング百歳をめざしつづ
(栄町) 本村悦子
- ◇雑草も地球のウブ毛と思えば気にならぬ
アイタタと言いつつ立話三・四十分
(本町) みたまま
- ◇気持ちよく真心込めし仕事場よ
お客さま笑顔で励ます毎日よ
(道金町) ドッチボール

川柳

大町町の

地域おこし協力隊 豆知識コーナー

VOL.21

公門が
お届けする

こんにちは、大町町地域おこし協力隊の公門です。
7月は初旬からの線状降水帯の発生により、佐賀県内で土砂災害が発生し人的な被害も出てしまいました。土砂災害が発生する要因は、大雨や地震などによつての地盤への影響が大きいです。しかし、土砂崩れが発生するタイミングは予知することがとても難しく、突然襲いかかってきます。今回は土砂災害から身を守る3箇条をお伝えします。

1. 早期に安全な場所に避難する

土砂崩れは昼夜問わずいつ発生するか予測する事が大変難しいです。なので大雨が降り続けている場合などは、早期に安全な場所に避難する事が重要です。避難所が開設されていない場合でも避難できる場所として、親戚や友人に事前に相談しておきましょう。

2. 自宅周辺の状況の変化に気をかける

土砂崩れの予兆としては、普段何もない所や裏山から湧水が出たり、木がミシミシときしむ音や枝が折れパキパキという音が聞こえる場合があります。このような現象が見受けられる場合は危険な状況である可能性が高いため、すぐにその場を離れるようにしてください。

3. 避難できない場合は、裏山から一番遠い2階の部屋へ

さまざまな事情により避難が出来ないという人もおられると思います。そういった場合は、裏山や斜面から一番遠い2階の部屋でなるべく生活するようにしてください。土砂は下に流れ込みますので、災害が発生した場合、屋内で一番助かる可能性が高いのが斜面から一番遠い2階の部屋になります。就寝時その部屋で寝るようにして頂けると助かる可能性が高まります。

土砂災害に関しては、万全な備えというものはありません。実際に佐賀県内でも被害が発生していることを自分ごととして捉えてください。

大町町の

地域おこし協力隊 子育てよもやま話

VOL.1

上原が
お届けする

皆様、こんにちは。大町町地域おこし協力隊新メンバーの上原です。

5月に赴任し、はや3か月、地域の方々や子どもたちとも日ごとに顔見知りになれて嬉しく思っています。さて、今回より私上原が、さまざまな活動の様子や子育てにまつわるお話などからいろんな観点で子どもたちの理解へとつながっていきたいと思います。第1回は、フリースペース「ペリドット」での子ども同士の関わりから、ほっこりエピソードを紹介いたします。

生き物が大好きな小学生が、年上の子どもたちに「虫捕りしよう!」と誘いかけたものの、お兄さんたちがござってこの足を踏むと「お兄ちゃんと一緒に虫捕りしたか!」と泣き出す始末。お兄さんたちは責任を感じ、誰が行くかと試案するも、なかなか決まらない様子でした。

そんな中、泣きじゃくる姿を見かねた唯一の中学生が「俺がついて行ってやるばい!」と切り出し、そのひと声に小学生は「えっ、一緒に行ってくれると!?!」と、たちまち笑顔に変わり、2人して出かけていきました。

しばらくすると2人で「にほんとかげ、捕まえた!!」と喜び勇んで戻り、その子は「お兄ちゃんが見つけてくれた」と尊敬のまなざしで報告し、中学生は「こいが1人で捕まえたよ。すごか!」と、その子の姿に目を細めていました。

この一幕では、小学生は1人で遊ぶよりお兄さんたちと関わりたい想い、中学生は、年下の子の想いに寄り添い、酌んでやろうとする姿が見られ、何よりも2人がとても満足げで、互いをリスペクトする姿が見られたことは、とても素敵で嬉しく思いました。

このように多世代での交流では学校とはまたひと味違った関わりが生まれ、子どもたちの成長に関与していきます。

— 退任のご挨拶 —

地域おこし協力隊子育て支援担当の平井です。7月31日をもって大町町の地域おこし協力隊を退任させていただきました。4年間、大町町で協力隊としていろんな方に関わりながらさまざまな活動をさせていただきました。本当にありがとうございました!

